

表彰趣旨

u-Japan大賞概要

すぐれたICT(情報通信技術)サービス・システム事例を蓄積し、いつでも・どこでも・何でも誰でも簡単にネットワークにつながるユビキタスネット社会における活用モデルとして広く普及啓発を図ることを目的とし、本年2月から実施した「u-Japanベストプラクティス2009」の事例募集に対して応募のあった事例のうち、優秀な事例について表彰を行うものです。

表彰概要

区分	サービス・システム名	開発・提供者
大賞	岩手県周産期医療情報ネットワークシステム「いーはとーぶ」 P2	岩手県
地域活性化 部門賞	青森ソーシャル・キャピタル・サービス P3	特定非営利活動法人 ソーシャル・キャピタル・ サービス青森
	はままつ子育てネットワーク 「ぴっぴ」 P4	特定非営利活動法人 はままつ 子育てネットワーク「ぴっぴ」
	キッズ安心サービス (マイカルテカードシステム) P5	株式会社レノメディカ
環境部門賞	UTIS (ユビークリンク交通情報システム) P6	株式会社ユビークリンク

大賞

岩手県周産期医療情報ネットワークシステム「いーはとーぶ」

岩手県

岩手県内の医療機関や市町村などの間をインターネット回線で結び、妊産婦の健診情報や診療情報を共有して、保健・医療関係者の綿密な連携を実現するシステムです。

サービス・システムの狙い

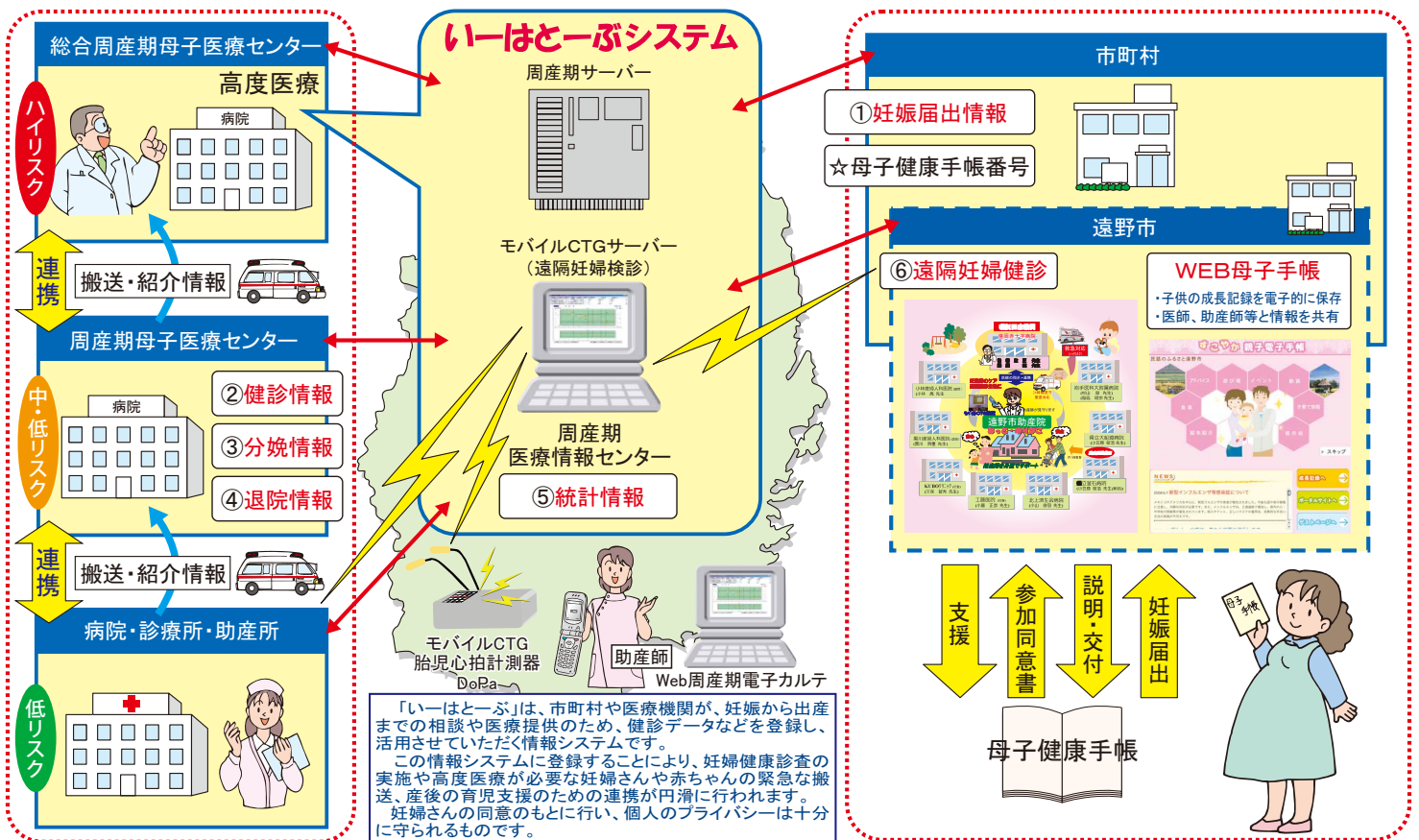
- 安全・安心な妊娠・出産・育児のため、インターネットを介して周産期医療電子カルテネットワークの周産期医療情報を共有し、保健と医療の関係者が連携して妊産婦をサポートします。遠隔妊婦健診やWeb母子手帳と組み合わせることにより、育児に役立つより多くの情報を活用することが可能となります。
- 妊婦健康診査や出産後の退院情報から早期に保健指導や要支援の妊産婦や新生児の把握が可能となることから、保健指導や家庭訪問が適切な時期に可能となります。

利活用の状況と導入効果

- 周産期医療機関、市町村、県が主体となって、平成21年4月に導入開始。岩手県全域に提供。
- 情報共有により検査等が重複防止され、医療費削減につながります。最少に見積もった場合、患者1人の搬送1回につき5,950円の医療費削減効果が見込まれます。
- 遠隔妊婦健康診査を活用した場合、妊産婦の通院に伴う、経済的、心理的な負担の軽減につながります。

岩手県周産期医療情報ネットワークシステム「いーはとーぶ」の特徴

- 高度医療の必要な妊産婦、胎児、新生児の紹介、健康診査経過の情報共有が可能になります。
- 妊産婦、新生児に対する早期の保健指導ができ、効果的な育児支援が推進されます。
- 事務の効率化とともに、ハイリスク妊産婦や産後メンタルヘルスの速やかな把握と支援が可能となります。



●本件お問い合わせ先

岩手県保健福祉部児童家庭課 少子化担当 担当：武田・和田 TEL：019-629-5470
E-mail：e-wada@pref.iwate.jp

地域活性化部門賞

青森ソーシャル・キャピタル・サービス

特定非営利活動法人 ソーシャル・キャピタル・サービス青森

市民、商店街、NPO法人、企業、自治体等の協力の下、地域SNSとICTを連携させることで、地元情報を発信・共有し、新しい地域活性化モデルを実現します。

サービス・システムの狙い

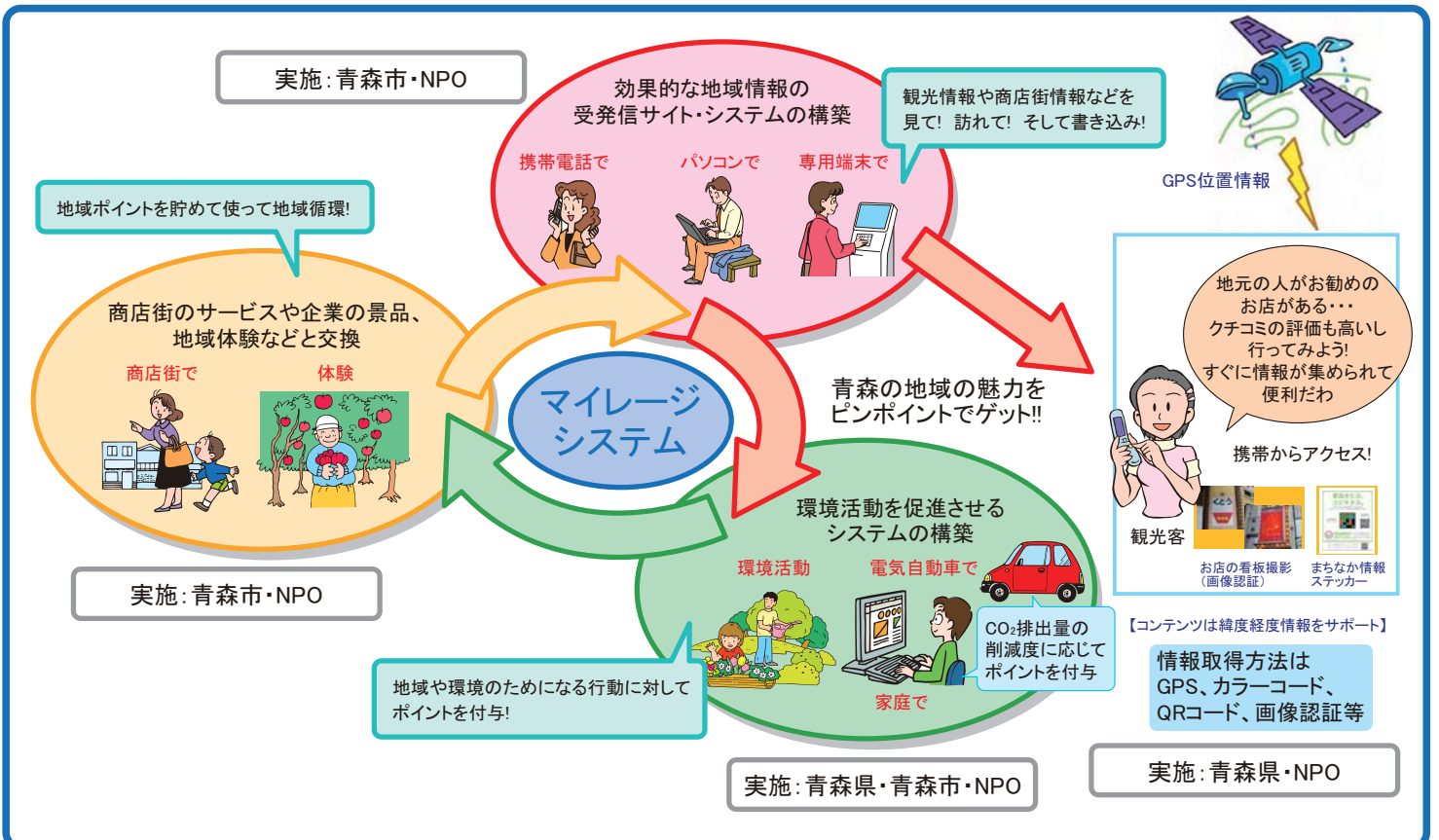
- 地域SNSを開発・運営することで、口コミ情報を現地・自宅から投稿し、観光客等に新鮮で信頼性の高い情報の蓄積・提供を実現します。
- ICTにより、実際に街を移動中のユーザが携帯電話等を使用し、ピンポイントで店舗情報や周辺地図情報等の取得を可能にします。
- 市民の口コミ投稿や日頃の環境負荷低減活動と地域ポイントを連動・流通させ、低炭素社会の形成と地元商店街の活性化を実現します。

利活用の状況と導入効果

- NPO法人SCS青森が主体となって、平成20年4月に導入開始。青森市全域に提供。
- 平成21年4月時点で、ユーザ数1000名以上、お店コンテンツ約430件、コミュニティ数46件、現在の書き込み数約3万件、総アクセス数約90万件となり、認知度も向上しています。
- 行政や学校との連携により、提供する情報の量と質が向上し、有益な情報配信量の増加に伴い、保護者や企業の参加が増加しています。

青森ソーシャル・キャピタル・サービスの 特徴

- 携帯電話で看板等を撮影することにより、その場でお店の情報や周辺地図、口コミ情報が得られます。
- 環境家計簿システムへのチーム参加により、メンバー同士の交流と身近なエコの意識向上を促進します。
- SNSサイトでの活動等を通じて貯まったポイントを、景品や地域体験、施設への景品寄付等と交換できます。



● 本件お問い合わせ先

特定非営利活動法人 SCS青森 副理事長 あぶみ つくお 鏡 継雄 TEL: 017-741-2171 (有限会社forte 内)
E-mail: nico2@aomori-ubi.jp NPO法人 SCS青森ホームページ http://aomori-ubi.jp/scs-aomori/

地域活性化部門賞

はままつ子育てネットワーク「ぴっぴ」

特定非営利活動法人 はままつ子育てネットワーク「ぴっぴ」

NPO法人と浜松市が協働で制作・運営している行政情報と民間情報をミックスした子育て情報サイトです。

サービス・システムの狙い

- 浜松市が提供する保健、福祉、医療、教育等の行政情報と取材ママが取材した子育てに関する民間情報などを合わせて発信することで、子育て中の親のニーズを満たすことを最優先した子育てサイトを構築し、「地域の子育ての輪をひろげる子育て情報のポータル」の実現を目指しています。

利活用の状況と導入効果

- 「ぴっぴ」と浜松市の「市民協働」により平成17年4月にスタート。浜松市及び全国に情報発信。
- 平成21年4月時点で、サイト訪問者数は約6万～7万/月、サポーター会員は約600、サイトから情報発信する登録団体は約200です。
- 地域の子育てサークルの活動や父親の子育て参加意識を促進し、地域の子育て力を底上げしています。

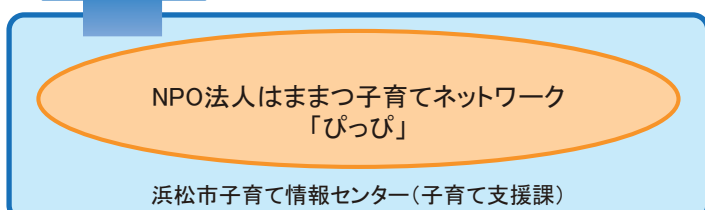
はままつ子育てネットワーク「ぴっぴ」の特徴

- 市民協働による行政情報と民間情報をミックスした子育て情報を発信しています。
- 発信する情報が「行政の縦割りの都合」によるカテゴリ化に陥らないように注意しています。(例：保育園・幼稚園情報の一元化)
- 「子連れでおでかけ」や「子育て便利グッズ」、「おすすめ図書」、「父さんたちの子育て日記」、「防災」といったテーマ別のブログを開設しています。
- SNS型のコミュニティサイト「子育ておしゃべり広場『ぴーこむ』」を独自に運営しています。

「ぴっぴ」イメージ図



★インターネットを通じて官民の一元化された子育て情報を取得



★子育てに関わる保育、健康、手当、就労、各種イベントなどの情報を提供

本庁

保育課	健康増進課	文化政策課
児童相談所	障害福祉課	スポーツ振興課
次世代育成課	ユニバーサル社会・男女共同参画推進課	生涯学習課
		広聴広報課

区役所

こども家庭課
健康づくり課
社会福祉課

公共施設

公民館	動物園
図書館	科学館
博物館	フラワーパーク
美術館	フルーツパーク

教育委員会

学事課
教育相談支援センター

民間の情報

取材ママ	ブログやSNSへの投稿	
子育て団体	子育てサークル	サポーター会員

★子育てに関する新鮮でタイムリーな「生の声」を発信

● 本件お問い合わせ先

はままつ子育てネットワーク「ぴっぴ」理事長 原田 博子 TEL : 053-457-3418
E-mail : pippi@hamamatsu-pippi.net http : //www. hamamatsu-pippi.net/

地域活性化部門賞

キッズ安心サービス（マイカルテカードシステム）

株式会社レノメディカ

カードのICチップに所持者属性等の情報等を直接書き込むことで、センターサーバーのいらぬ低廉で応用分野の広い安心・安全のカードシステムを実現します。

サービス・システムの狙い

- 学童保育所、学校、区民館等に設置した読取装置にカードをかざすだけで安否連絡を送信することが可能です。震災等災害時にも簡単に運用することができます。
- カード所持者が、どこの医療機関に行っても容易にアレルギー情報等の禁忌情報を確認できるよう、カード読取装置を設置する施設側の経済的な負担を極限まで軽減します。

利活用の状況と導入効果

- 都内自治体、区民館、学童保育所（現在実証事業中）が主体となって、平成20年9月に導入開始。
- センターサーバー、アクティブ型ICタグを用いた同人数規模の安否確認サービスと比較して、1/20のコストを実現します。
- 導入にあたり、機器設置2時間、操作方法説明1時間程度で運用を始めることができます。

キッズ安心サービス（マイカルテカードシステム）の特徴

- 安価なカード読取装置とパソコンによるシステムのため手軽に導入することができます。
- 専用線等の運用費やシステム管理者が不要で、サービスを提供する拠点の増加にも柔軟に対応します。
- 商店や子ども110番でもサービスの提供が可能であり地域活性化に貢献します。
- 個人情報情報はカードに格納しますので個人情報を管理する負担はありません。

マイカルテカード [リリカ] 株式会社レノメディカ

マイカルテカード「リリカ」は「持ち歩けるカルテ」からスタートしました

PCなどに接続したカードリーダーに置くだけで、現在ではその搭載機能は幅広く広がり、かざすだけで診療券、ポイントカード、図書館カード、自治体の保険証、社員証、Edyなど、1枚のカードで色々な用途にご利用が可能

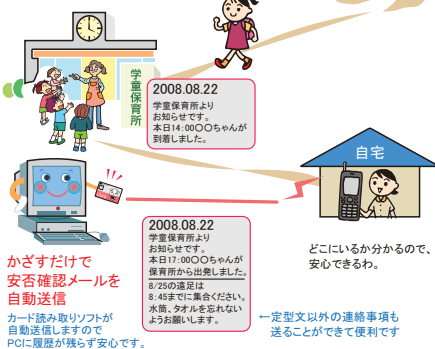
オフラインでも多くの情報が読み出せます

カードリーダーにかざすだけ



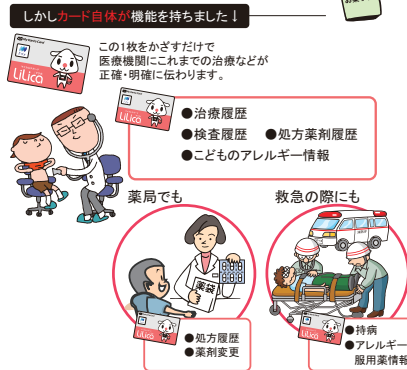
自治体の学童保育で

小学校が終わってから約80万人が向かう学童保育。無事に到着したことは勿論ですが、学童保育先から外出して帰ってくることもあり子どもたちがちゃんと戻ってきたかも確認しなくてはなりません。



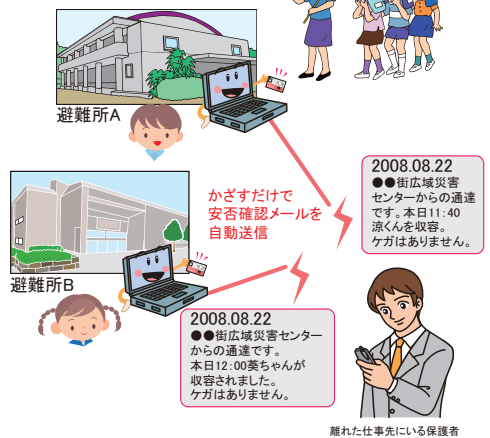
もしものケガや病気の時にも

次々と増えていく診療券の枚数。新たな病院受診ごとに治療や検査履歴を1から申告。カードには認識記号だけしか入っていません。



地震など被災した際の安否確認にも

地震など被災した場合、学校のエリアによって兄弟姉妹でも違う避難所に収容されることは、かなり高い確率で起こります。



● 本件お問い合わせ先

株式会社レノメディカ カード事業部 システム課 TEL: 03-6226-6727
E-mail: lilica@renomedica.co.jp http://www.mykartecard.com/

環境部門賞

UTIS(ユビークリンク交通情報システム)

株式会社ユビークリンク

走行中の車両の位置データを大量に収集し、広範で精度・鮮度の高い交通情報を生成することで、渋滞に伴う環境悪化の改善等を実現するシステムです。

サービス・システムの狙い

- 従来の幹線道路に設置したセンサーによる交通情報だけでなく、走行車両の情報を利用して迂回路等の非幹線道路も含めた交通情報サービスを提供し、渋滞の改善に貢献します。
- 利用者の快適なドライブの支援をはじめ、渋滞に伴う環境悪化の改善、渋滞を契機とした交通事故の回避、物流の経済性向上、都市計画の効率化などに貢献します。

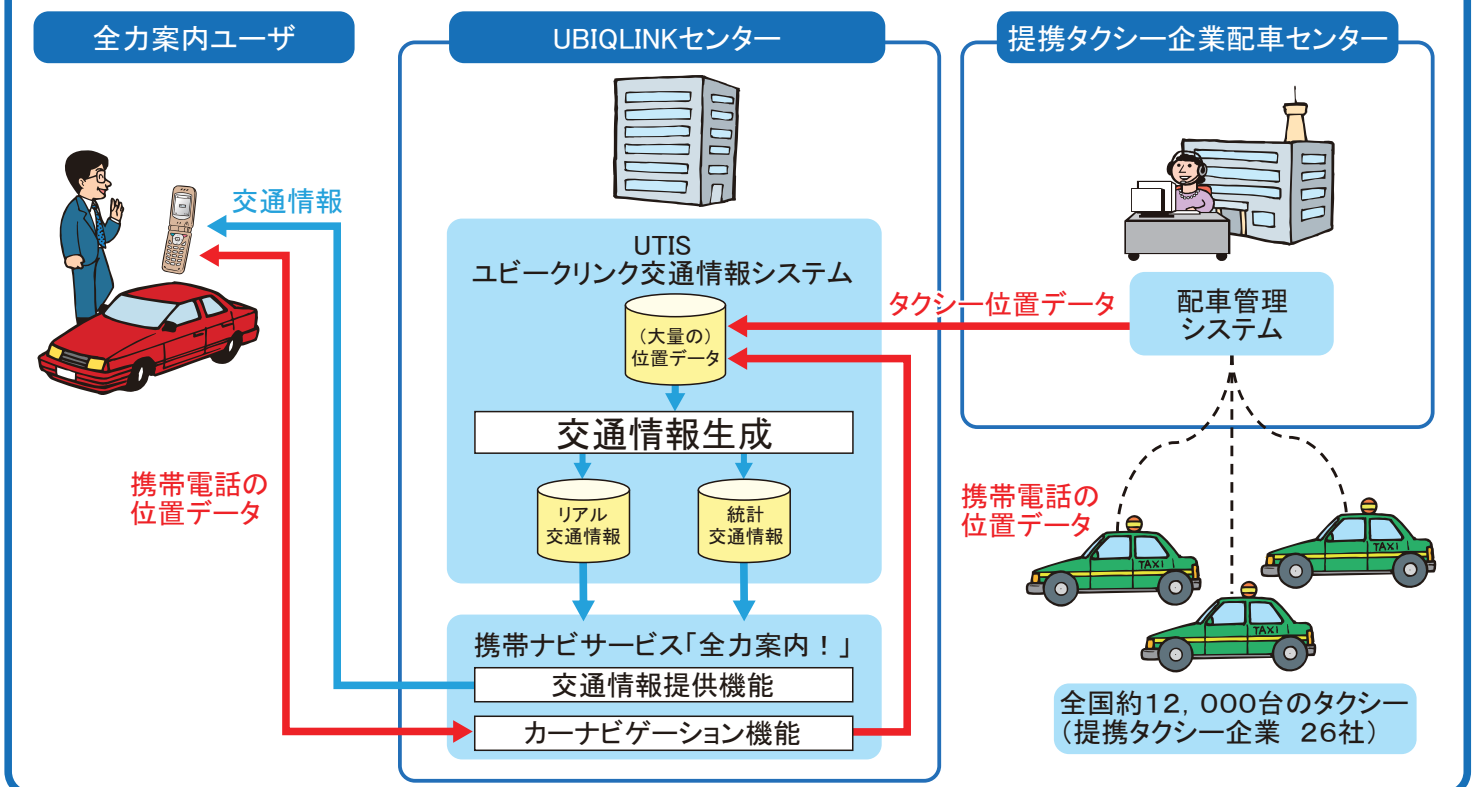
利活用の状況と導入効果

- 株式会社ユビークリンクが主体となって、平成19年10月に導入開始。主要政令指定都市等に提供しています。
- 都内で実施した走行実験では、幹線道路走行比で時間短縮効果は最大33%、平均19%、燃費削減効果は最大24%、平均14%です。
- 渋滞等の改善だけでなく、道路・橋梁等の建設計画の策定や、建設後の効果測定の効率化を実現しています。

UTIS(ユビークリンク交通情報システム)の特徴

- 独自に走行車両の位置データを大量に収集して、交通情報を生成します。
- 携帯総合ナビサービス「全力案内!」を通じて、渋滞回避経路を誘導します。
- 渋滞に伴う環境悪化の改善等により、環境負荷低減効果を生み出しています。

全国12,000台の提携タクシーや「全力案内!」利用者の携帯電話の位置データから交通情報を生成



●本件お問い合わせ先

株式会社ユビークリンク 事業企画本部 担当：島 TEL：045-336-7122
<http://www.z-an.com/>

ユビキタスネット社会におけるICT活用モデルとして相応しいと認められた事例については、表彰事例を

ICT地域活性化ポータル
[ベストプラクティス検索]



<http://www.applic.or.jp/tkportal/>

大賞

1. 「岩手県周産期医療情報ネットワークシステム「いーはとーぶ」」
(岩手県)

地域活性化部門賞

2. 「青森ソーシャル・キャピタル・サービス」
(特定非営利活動法人ソーシャル・キャピタル・サービス青森)
3. 「はままつ子育てネットワーク「ぴっぴ」」
(特定非営利活動法人はままつ子育てネットワーク「ぴっぴ」)
4. 「キッズ安心サービス(マイカルテカードシステム)」
(株式会社レノメディカ)

環境部門賞

5. 「UTIS(ユビークリンク交通情報システム)」
(株式会社ユビークリンク)

2009事例について

含め、u-Japanベストプラクティス2009事例としてICT地域活性化ポータルサイト等において公開中。

	サービス・システム名	開発・提供者(五十音順)
6.	「ユビキタス情報提供モデルシステム」	青森県、有限会社forte、 特定非営利活動法人ソーシャル・キャピタル・サービス青森
7.	「セキュアード・エントリー・システム」	株式会社アグレックス、株式会社IBS
8.	「電子カルテのネットワーク共有による大規模地域医療連携システム」	旭川赤十字病院、富士通株式会社
9.	「地域連携ポータルサイト「マイタウンクラブ」」	厚木市
10.	「地球環境に優しい電子カルテシステム・医療画像情報システム」	安城更生病院、富士通株式会社
11.	「長寿者のライフスタイル知恵活用システム」	伊仙町
12.	「Stickam JAPAN!」	株式会社E-Times Technologies
13.	「東海チャンネル、およびインターネット生放送」	株式会社E-Times Technologies
14.	「行政情報提供システム」	一関市
15.	「地域コンテンツポータルサーバ」	財団法人e-とくしま推進財団
16.	「携帯電話のメールによる公共交通機関経路探索サービス」	株式会社ヴァル研究所
17.	「GPS携帯電話を利用した位置情報告知システム「Sky Eye」」	株式会社ウイング
18.	「教育コンテンツ配信サービス『EduMall(エデュモール)』」	株式会社内田洋行
19.	「3Dコミュニケーション・ナビシステム」	株式会社エイブル・シード、 株式会社メタバーズ
20.	「地域活性化課題解決モデル「Webの駅構築システム」」	株式会社エヌ・アイ・ケイ
21.	「ViewRoad「渋滞統計予測データベース」」	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
22.	「企業向けSaaS型SNSエアリーシリーズ 内定者・新入社員向けSNSエアリーフレッシュャーズ」	株式会社ガイアックス
23.	「暗号便私書箱」	株式会社カオスウェア
24.	「ワークスタイル変革を実現するオフィスコミュニケーションシステム」	九電ビジネスソリューションズ株式会社 ニシム電子工業株式会社、富士通株式会社
25.	「地域ビジネスSNSを活用した地域情報交流モデル構築事業」	京丹後市
26.	「動画配信サービス(ライブ繁昌亭)」	株式会社ケイ・オプティコム
27.	「医療機関向け情報・広告配信サービス「ホスピタルチャンネル」」	株式会社システムズ
28.	「自治体・NPO法人と連携した「ICTデジタルワークショップ」の開催」	須高ケーブルテレビ株式会社
29.	「TSUDOI.JP つどいドットジェイピー」	つどいプロジェクト
30.	「ゆるキャラを活用した環境配慮活動に係る情報発信～コストゼロのシステム構築～」	鳥取県
31.	「3D仮想空間「SITECUBE」を用いた採用支援サービス」	株式会社野村総合研究所
32.	「info-POST&イベントボード連携統合型地域情報提供システム」	株式会社バーチャル和歌山、 特定非営利活動法人 市民のわかやま
33.	「浜松ほくえんC A F E」	浜松市
34.	「庁内ネットワークを活用したIP告知同報システム」	東日本電信電話株式会社
35.	「機密文書管理システム」	株式会社日立システムアンドサービス
36.	「在宅勤務サービス」	日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社
37.	「Hi-PerBTモバイル給与」	株式会社日立中国ソリューションズ



Ministry of Internal Affairs and Communications

《ICT地域活性化ポータルサイトのご紹介》

本表彰事例を含め、地域活性化に資するICT活用事例を紹介しています。ICTが実際にどのような場面で利用されているか、地域の創意工夫によってどんなことに使えるのか、といった検討に役立つICT活用事例が検索できます。ぜひご活用下さい。



<http://www.applic.or.jp/tkportal/>

総務省情報流通行政局情報流通振興課

〒100-8926 東京都千代田区霞が関2-1-2 中央合同庁舎第2号館

電話：03-5253-5748 FAX：03-5253-5752

u-Japan 政策ホームページ http://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/ict/u-japan/index.html



紙へリサイクル可

この印刷物は、古紙配合率100%再生紙を使用しています。